

## 平成30年度第2回市民と議会のつどい（議会報告会）実施報告書

開催日時	平成30年11月10日（土） 午後1時30分 ～ 午後3時42分	
開催場所	加茂文化センター 第1・第2研修室	
担当議員	班代表者	片岡 廣
	司会者	西山 幸千子
	報告者	河口 靖子
	記録者	倉 克伊、谷口 雄一
	班員 (上記以外)	高味 孝之、森岡 譲
参加人数	13人	
主な質疑・意見等	<p>Q：兜台保育園完全民営化について、公立でなくなることに不安を感じている。職員一人あたりに対して、子どもが多くなっているとの話も聞く。お金のメリットは分かったが、どのように変わるのか。</p> <p>A：兜台保育園は、当初から愛光福祉会が運営されていた。土地については所有者であったURが撤退することとなり、市が購入した。市から事業者へ建物を無償譲渡することにより、国庫補助金が受けられるようになる。そのための条例改正である。</p> <p>A：保育園職員の配置基準については、法律により厳格に定められており、その基準にそって認可されている。運営については、従来と変わらない。</p> <p>Q：兜台保育園の完全民営化について、地元、保護者向けの説明会はあったのか。</p> <p>A：説明会等の実施は確認していない。運営面での変更はないと理解している。</p> <p>Q：説明資料について、他市の歳出額だけでなく歳入額も記載してほしい。議会だよりの監査状況を読むと決算状況がよくなっているように思うが、次年度予算にどのように反映されるのか。決算特別委員会においてどのような議論がされたのか。</p> <p>A：分かりやすい内容となるよう検討したい。</p> <p>基金については、大半が目的の決まった基金である。普通交付税の合併算定替えの終了により6億近いお金が減る見込みであり、また扶助費も増えている。今後も支出を抑えながら、どのような事業がなされているかの監視が必要である。</p> <p>Q：循環型社会推進基金条例について、今後の運用時期とビジョンは。</p> <p>A：ごみ袋の販売手数料を基金とし、更なるごみ減量化・再資源化の施策のみに使うものである。現在、廃棄物減量等推進審議会でのいろいろな議</p>	

	<p>論が行われているところである。</p> <p>Q：一般質問に関して、係争中による行政答弁拒否について議会の対応は。  A：議会運営委員会を開催し、行政に対し議会としての見解を伝えた。  別途、市議会議長会、関係機関に見解を確認したところ、「係争中のために答弁を控える」とするの答弁となるとの話もあった。それ以上の答弁の強制はできない。</p> <p><b>【議員定数について】</b></p> <p>Q：行政はお金がないといって、職員の給与を下げている。請願内容にある、議員定数の削減をし、報酬を上げるというのはおかしいのではないか。  A：請願内容は、市民である請願者から出されたものである。議員報酬については、請願内容のとおり今後の検討課題と考えているが、現状では困難であるとの認識である。</p> <p>Q：議員定数の考え方について、他市との比較だけに頼らずに、市をどうしたいのかとの視点で考えてほしい。定数は減らせば良いというものではない。  A：3月に特別委員会を設置し、常任委員会数、人口規模、財政規模等、様々な視点から、毎回テーマを決めて議論がなされている。</p> <p>意見：議員が近くにいない。合併した市で、それぞれに旧町の特色がある。人口割りや財政規模だけで定数を決めるのは疑問だ。</p> <p>意見：木津川市は広い。人口も増えている。議員は市内隅々まで回るべきで、本来なら増やすべきだ。</p> <p>意見：合併時の26名から24名、その次は22名。今回は3回目だ。本市のように合併したまちでは市民の声が行政に届かなくなる。報酬は上げることが検討すればよいが、削減するから上げるという考え方は全く間違っている。</p>
<p>質問・要望等で行政側へ報告すべき内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4リットルサイズのごみ袋を作してほしい。</li> <li>・コミバスは、南加茂台から市役所まで走らせてほしい。</li> <li>・下水道条例違反に対する行政の対応についての疑問。工事を行う場合は市長の指定した業者が行うはずだが、枚方の無届けの指定業者が接続工事をし、クレームとなっている事例があった。</li> </ul>
<p>その他特記事項</p>	

上記のとおり、報告します。

平成30年11月26日

木津川市議会議長 高味 孝之 様

平成30年度第2回議会報告会

第1班 代表者 片岡 廣 ⑩